

令和6年度 第3回 京田辺市立図書館協議会 会議要旨

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

- (1) 京田辺市立図書館蔵書計画（素案）について
- (2) 複合型公共施設における公民館・図書館機能について

(事務局)

前回の協議会の中で京田辺市立図書館蔵書計画の骨子案を提案したが、蔵書計画のみを策定するのではなく、京田辺市の図書館としての目指すべきもの、理念やあるべき姿などを示し、その中に蔵書計画を位置づける必要があるとの指摘を受けた。その指摘を受け、今回は、それらを盛り込んだ「京田辺市立図書館サービスアクションプラン」（素案）を提示、協議していただきたい。

京田辺市立図書館の現状や課題、取り組みなどを説明。全国的に利用が減少している中で、従来とは異なるコンセプトが必要となるため、様々な仕掛けや工夫を行う。

京田辺市が目指すミッションとして、「地域の生活や暮らしに役立つ図書館」を挙げ、ビジョンとして、「交流の空間」「本との出会い」「図書館サービスの拡充」を掲げた。

(委員)

近年の図書館の動向として、静かな図書館を望まない。賑やかさも求められている。しかし、静かに本を読みたい市民もいる。ゾーニングが望まれる。

(委員)

図書館を利用して、自分の知らない思いがけない良い本と出会える。時間があればゆっくりと滞在し、いろいろな本を手に取りたい。静かな環境を求める人もいるが、これからは全員が過ごしやすく居心地の良い場になることを望む。通いたくなる図書館であれば賑わいにつながると思う。

(委員)

図書館は読む人と作者の繋がりがもてる。作者と対話ができるということが図書の存在価値を高める。

(委員)

ビジョンの中で、「交流の空間」が強調されているように感じる。新しい図書館を作ることより人々が期待し、集まるのはあたりまえである。望ましいことではあるが、現在のよいところをもっと活かすことも必要ではないか。

(事務局)

複合型公共施設における公民館・図書館機能について説明。

趣旨を説明。公民館・図書館の課題として、中央公民館の老朽化が進行している。また、エレベーターが設置されておらず、バリアフリー上の問題がある。作品展示スペースがない。公民館事業を広く市民に周知できていない。等多数の課題が挙げられる。これらの現状や課題を踏まえ、施設運営や整備の方向性を決定する。より多くの市民が集い、「誰でも気軽に文化に触れ、活動できる環境づくり」を果たすことのできる施設とする。また、複合型公共施設整備のコンセプトである「みんなで創る“つながり”“ひろがる”文化の広場」実現のため、事業の連携や多様な文化活動の交流など、メリットを活かした施設整備を行う。

(委員)

図書館と公民館の機能をくっつける場合は、音の空間には、かなり留意しなければならないだろう。

(委員)

学校図書館の充実もしていただきたい。

次回開催予定 令和7年3月4日（火）午前10時30分～ 集会室